

東日本大震災災害復興に関する

特別委員会経過報告

平成23年 7月1日 開催

平成23年 7月22日 開催

平成23年 9月2日 開催

幼稚園の再開も

いわき市内での小学校の再開に向けた取り組みに加え、仮設住宅に併設されている集会所での広野幼稚園の開設を要望しました。

再稼働を要望

町内における一般家庭ゴミについては、収集運搬が進まないため一部のゴミステーションにおいて散乱していることから、南部衛生センターの再稼働を要望しました。

被災者に配慮した配分を

国・県義援金二次配分は、津波等で被災された方々を配慮した配分方法にするよう提言しました。

風評被害の対策を

平成24年に作付けされる農産物が風評被害によって不利益を被った場合は、町が責任をもって補填協議に当たるよう申し入れをしました。

年間被ばく量は

1ミリシーベルト以下
安心して全町民が帰還するためには、放射線量の低減が絶対条件であり、その方法、目標値、モニタリングポストの設置と増設を強く要望しました。

さらに、乳児から高齢者までが安心して生活できるよう、広野町の被ばく線量を年間1ミリシーベルト以下にする事業を展開するよう要望しました。

◆いわきまじりのまじり◆

特別委員会が設置されてから、現在まで3回の委員会を開催しました。
今後の委員会活動としては、現在、広野町は厳しい状況下にあり
特別委員会が設置されてから、いかに3月11日以前の状況に近づけ、広野町が双葉郡の中心的役割を担うにはどのようなにすれば良いか委員一丸となって進めてまいります。



▲子どもたちの歓声が聞こえる町に（H22年保育所いもほり）